

ふるさと銀河線の鉄路残したい…

# 再生ネット、署名活動開始



来年4月廃止の第三セクター鉄道「ふるさと銀河線」(北見市と十勝支庁池田町)の運営を新会社に継承して鉄路を残す運動に取り組む「ふるさと銀河線再生ネットワーク」(下斗米ミチ代表)が23日から、北見市内や沿線で、1万人を目標にした署名活動を始めた。

## 1万人目標 新会社に運営継承狙う

活動は、岡山市内で路面電車とバスを運行する岡山電気軌道に、銀河線を引き継いでもらうのがねらい。再生ネットは、バス転換されれば、通学も難しくなり、高齢者の病院通いも冬場は難しく、いずれ「陸の孤島」になる町も出る」などと懸念している。

再生ネットは、岡山電気軌道から継承するための前提条件として、住民熱意や沿線自治体の応分の財政支援など4項目が示されたのを受けて、署名活動に取り組んでいる。

銀河線廃止後の代替交通をどうするかは、北海道運輸局主催の協議会や沿線自治体等連絡協議会で、バスの運行計画、運

岡山電気軌道は、和歌山市民や自治体の後押しを受けて別会社を起し、南海電鉄(大阪市)の貴志川線(和歌山と貴志14・3キ)を、来春に

「住民の力で残そう銀河線」のゼッケンを付け、署名を集める「ふるさと銀河線再生ネットワーク」の会員

北見市内で

引き継ぐ。南海電鉄も、貴志川線の10月1日の廃止予定を半年繰り下げる申請を国に提出した。